

現行の感染症法上の分類と主な措置

	新型インフルエンザ等感染症	2類	5類
主な感染症	新型コロナ、 新型インフルエンザ	結核、 SARS	季節性 インフルエンザ、 風疹
外出 自粛要請	○	×	×
入院勧告	○	○	×
感染者の 把握方法	全数 (新型コロナは9月から 簡略化)	全数	定点 (一部は 全数)
医療費	公費負担	公費負担	一部 自己負担
診療・ 入院先	発熱外来や 指定の 医療機関	指定の 医療機関	一般 医療機関

住民のいのちと暮らしを守る政治を 地域から実現しよう

新型コロナウイルス感染による国内の死者数は、年明けに累計6万人を超え、第8波の死者数は過去最高となり、このうち1万人は、この1カ月あまりで一気に増加しました。

「5類」への安易な引き下げは 混乱を招く恐れが

介護老人保健施設みみはら

施設長 土井 康文

昨年11月以降に高齢者施設で起きたクラスター(集団感染)は、全国で約6000件を超え、これは全体のクラスターの6割にも上ります。同仁会の老健施設も例外ではなく、1月はじめからコロナ感染が一気に広がり、新規の入所制限をはじめとした収益面や対応する職員の疲弊など大きな打撃を受けました。また、現在でもコロナ感染者への介護、看護にはこれまでと比較にならないほどの手間や注意が必要ですが、政府や自治体による援助はわずかです。

このような状況の中、岸田文雄首相は、コロナ禍から「平時の日本を取り戻す」を理由に、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを、「5月8日に季節性インフルエンザと同等の『5類』に引き下げると表明しました。5類になれば、経済への影響も少なくなり、国の財政負担も減りますが、「一般の病院でも広く受け入れるのか」「自治体の入院調整はどうか」

これまで行っている「医療費やワクチン費用の自己負担を求めるのか」「行動制限はどこまで必要か」など、検討しなければならぬ課題も山積みで、「5類」への安易な引き下げは様々な混乱を招く恐れがあります。

医療や介護に携わる者として、新型コロナウイルスの感染症法上の安易な類下げは許せません。大阪府政が維新政治のもとで、これまで公立病院の統廃合や保健所の縮小などを行ったことは、大阪が全国で一番コロナによる死亡者を出した一因だと考えます。いのちをおろそかにする自公政権や維新政治をこれ以上続けるはなりません。4月の地方選挙、6月の市長選挙では住民の生活といのちを守る政治へ転換させましょう。

現場の意見を行政に伝える

介護事業部

ケアマネジャー 大隅 勇子

ケアマネジャーは、利用者や家族を多職種につなぎ、支え、希望する自立した生活ができるように支援をしています。長く続くコロナ禍で、出口が見えない毎日ですが、「何か前を向いてできることはないか」との思いをもって、堺市における大阪社会保険推進協議会主催の2022年度自治体キャラバン行動



自治体キャラバン

体キャラバン行動に参加しました。利用料の2割、3割負担の対象者拡大、要介護1、2の保険外し、ケアプラン作成への自己負担導入などの負担増と給付削減の介護保険見直しの検討が、今後も行われていきます。現時点でも、必要なサービスを利用できる実態は、とても大切だと感じました。

行政が机上で考えていることと現実とは違うところがあります。常日ごろ、職場で話し合われている声を、現場の意見として行政に伝えることは、とても大切だと感じました。

通院困難な方に、 医療・介護の手を

みみはら在宅クリニック

事務長 大隅 利隆

往診患者さんの大多数は、高齢者で高血圧や脳血管の病気など、基礎疾患をお持ちです。これらの方が、新型コロナに感染すると状態が急激に悪化しやすいので、早期の対応が必要で、ご家族な

どの求めに応じて往診に出向き、急を要する場合は、救急搬送を依頼することもあります。

今まで受診されたことがない方でも、「最近まで歩いていたのに、熱が出て急に動けなくなっ



みみはら在宅クリニック

行政に対しては、通院困難な方に十分に医療・介護の手が入るような体制を求めたいです。

助かるはずのいのちが手遅れにならず、いのちが何よりも大切にされる政治であってほしいと思います。